

令和5年度 第4回 白脇小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年1月31日（水） 13時15分から15時00分まで
- 2 開催場所 白脇小学校 会議室
- 3 出席委員 鶴屋 義照、柳川 樹一郎、清水 哲夫、外波山 裕康、  
鈴木 真智子、望月 真菜
- 4 欠席委員 田口 博
- 5 学 校 水村 辰也（校長）、大石 みや（教頭）、安川 剛史（教頭）、  
河口 裕之（主幹教諭）、植田 敬子（CSディレクター）
- 6 教育委員会 鈴木 陽子（教育総務課）
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 植田 敬子
- 9 議長の選出

司会の河口より議長の選出について、会長欠席のため委員に意見を求めたところ、鶴屋委員を推挙する旨の発言あり、全員異議なくこれを承認した。

10 協議事項

- (1) 学校評価について
- (2) 来年度の学校運営の基本方針について
- (3) 学校運営協議会の自己評価
- (4) 夢育やらまいか事業（CS加算分）

11 会議記録

司会の河口から、委員総数7人のうち6人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

校長から2学期の活動報告をスライド交え説明。

- ・ 各学年の主な活動報告。
- ・ 朝会で子供たちに繰り返し話をしてきた「継続は力なり」の大切さの確認。

(1) 学校評価について

- ・ 学校評価を通して見えた成果と課題の報告。

①R4と比較してR5は肯定的な回答が増加した。

→いじめの認知報告も昨年度より減少している。

②授業のユニバーサルデザイン導入で、教師の意識向上をはかっている。

→25項目のチェック項目があり、4月と12月を比較すると相対的にあがっている。

③児童と話す時間の確保の問題。

→コロナが5類に移行したことで、教師の負担が増加し、子供と向き合う時間が減少している現状。

- ・ 1年生に導入しているMIM（言葉の指導）の紹介。（毎週木曜日5時間目20分程度）

「話す・書く・聴く」のスキルが低い子を発見し、手立てを立てる事にも有効。

委員からは以下の発言があった。

- ・ ゲーム的な感覚での言葉遊びは、子供にとって入り込みやすい。（清水委員）

・MIMを行うことでの具体的な成果はあったか。(外波山委員)

→読書で選ぶ本の種類がかわってきた。自信をもって本読みをする子供の姿が増えた。

・MIMやマス計算など、時間に追われる形の問題は、時間に追われることが苦手な子どもにとっては自信を失うことはないか。(鶴屋委員)

→決められた時間で問題を解くのは月に一度のみで、その他の週は、時間関係なく最後まで解くことにプライオリティを置くなど臨機応変に対応している。

・みんな画一的にレベルアップを図ることが果たしていいのか。ひとりひとり個性があつていいのではないか。(柳川委員)

・今、選択肢の多い時代であるからこそ、その中から自分が自信を持つてできることを見つけてほしい。(鈴木委員)

・耳で聞く言葉を、文字で改めて考えるMIMの導入は良いと思う。正しい日本語を身に付けられる学習機会はどんどん与えてほしい。(望月委員)

・テストの中身だけではなく、“指導者の言葉”も子供の自信につなげる下支えとしてとても重要である。(外波山委員)

#### (2) 来年度の学校運営の基本方針について

・校長より、令和6年度のグランドデザインは今年度の深化充実であること、そして、目指す子供の姿—「これからの社会を生き抜くための資質や能力をはぐくむ子供」に重点をおいて進めていきたいと説明がある。授業のユニバーサルデザインを来年度も継続することで、生徒ひとりひとりの個性に対して今まで以上に教師が関わられるようになることを目指す。

委員からは以下の発言があつた。

・これから先、例えば災害が起きた時や子供自身が困難なことにぶち当たったとき、どう乗り越えるか、どうやって心の切り替えをするかなど、学校で学べる機会があつてもいいと思う。(清水委員)

#### (3) 学校運営協議会の自己評価

・田口会長が作成した市教委に提出する学校運営協議会自己評価を、鶴屋委員が読み上げ、補足することがあるか問う。

委員からは、以下の発言があつた。

・学校・家庭(保護者)・地域(子供会、シニア会、自治会、たこ揚げ会など)これらの一体感が今後必要になるが、結びつきをどう構築していくかが今後の課題。(柳川委員)

・子供の活動の多様性、地域のあり方が変わってきている昨今、どういう姿・形が理想的なのか。(外波山委員)

#### (4) 夢育やらまいか事業(CS加算分)

・教頭より、夢育やらまいか事業6万円の使い道の説明。(地域の方を講師に招いた謝礼。地域の方で行った栽培活動で使用された花壇の土・花代へ使用。)

・来年度のCSコーディネーター決定後、ボランティア募集をし、ボランティア名簿を作成して都度の活動に活用していく。

司会から、次回会議は、令和6年5月23日(木)午後13時15分から会議室で開催予定。